

ながの 就労支援ネットワーク News

2003年11月
平成15年
NO.13

発行：なかの障害者就労支援ネットワーク事務局
中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)
〒165-0026 東京都中野区新井 2-8-13 TEL (03)3388-2941 FAX (03)3388-2942
URL <http://www.next-nakano.com> E-mail office@next-nakano.com

印刷：(社福)東京コロニー
コロニー印刷所
TEL (03)3953-3541
FAX (03)3565-0471

Contents

- ①こんにちは！ シリーズ（第8回）
- ②働くことを考える
- ③ペットボトルのキャップ回収にご協力を
- ④訓練から雇用へ（研修会報告）
- ⑤とびっくす
- ⑥ネットワーク会議要約(26回目～27回目)

こんにちは！ シリーズ(第8回)

みなさん、ぜひおいでください！

こんにちは！
カサデオリーバ
です！
(新しい仲間です)

この7月から新しく私たちの仲間入りをしました「カサデオリーバ」さんに施設紹介をしていただきました。

カサ デ オリーバ 村松いづみ

カサ デ オリーバは、精神障害者社会復帰訓練施設(共同作業所)で、喫茶店という店舗形態の擬似的就労の中から、障害者の社会参加を図り、ノーマライゼーションを推進しています。店舗形態(喫茶店)にする事により、従来の閉鎖的な精神障害者施設とは異なり、地域密接の開かれた施設として機能しています。見た目には分からない、レントゲンにも写らない“心の病い”は、だれにでも起こりうるものです。ここで働く方々は、通院、薬の服用をしながら、家族や地域市民に支えられて、病状をコントロールしながら、薬の作用で低下した集中力・理解力・持続性・判断力・協調性他を養い、生活のリズムを調整し、社会復帰を課題に訓練しています。

■共同作業所■

月～金 11～17時 喫茶店運営・軽作業・合宿・遠足・レクリエーション他

■NPOとしての活動■

- 平日18時以降・土・日・祝日
- 場所貸し(会議・音楽・ダンス・パーティー等でご利用頂けます)
 - コミュニケーションプログラム(合唱・集い他 1回500円お茶・菓子付)
 - 音楽教室(トランペット・トロンボン・サクソフーン・コンガ等打楽器)

お問い合わせ 03-5340-8898(平日10～18時)
URL <http://www.c-oliva.com/>

「カサ デ オリーバ」の由来

オリーブの実とは、決して主役にはなれない。添え物(飾り)として使用されることが多く、瓶詰めのものが一般的である。あってもなくても、どっちでもいい食材である。しかし、あの小さな実にはいろいろな香りが秘められている。たとえば、オイル・・・エキストラバージンオイルは糖尿病の人にも、大変効果がある etc とても大きな隠れた力をもっている。

そんな人たちの集まる家という意味
オリーブの実(平和、フクロウの意味もある)

働くことを考える ～7月24日就職準備セミナーより～

今年度の知的障害者のための就職準備フェアでは、「働くことを考える」をテーマに行いました。当日は、実際にジョブコーチとともに就職活動をして、就職をしている3名の方を講師として迎え講演会を行いました。講師は、新宿区・杉並区そしてわが中野区のメンバーです。それぞれのユニフォームを着ての登壇でした。3名の職種は、事務補助、調理補助、食器洗浄業務というものです。

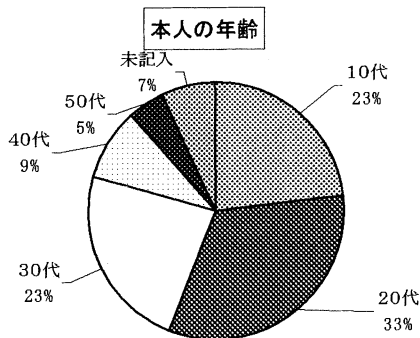
その他、ハローワークより「現在の雇用情勢」、職業センターより「働くための心がまえなど」を話していただきました。

今回のニュースでは、セミナーに参加した利用者のみなさん、保護者、指導員のアンケートをもとに、今後の就労支援について考えたいと思います。

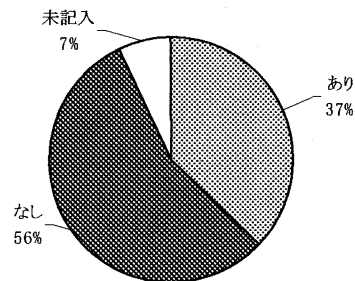
◆アンケート回収状況

	新宿	中野	杉並	合計
本人	10	24	9	43
保護者等	6	12	7	25
合計	16	36	16	68

圧倒的に、本人・保護者・職員等とともに中野区の参加者が多い！



就労経験の有無



どの話が役に立ちましたか？(複数回答可)

	本人	保護者・職員
就職した人の話	24	29
企業の障害者雇用の状況	2	6
就職に向けての心構え	6	

今日の話聞いて、就職をしたいと思いますか？

	本人	保護者・職員
強く思った	(22) 24	(16) 16
少し思った	(13) 9	(6) 6
思わなかった	(6) 5	(2) 2

()内は、話を聞く前の就職に対する希望

就職をする上で、何か不安はありますか？

	本人	保護者・職員
ある	20	24
ない	19	1

それはどんな不安ですか？

	本人	保護者・職員
仕事ができるだろうか	12	17
会社の人間関係	9	21
離職後の行き場		8
その他	2	2

本人のアンケートより

- 本人の話を中心としたセミナーは、「就職経験のない保護者」に有効！
 - やめた後の心配が多数！社会資源の脆弱さを物語る！
 - 仕事より人間関係がとても不安！
 - 受け入れる企業の現状はどうか？
 - ジョブコーチの存在に興味あり！ここが今後のカギをにぎるのか！？
- ジョブコーチという存在をもっとピアールする必要性を感じました。また、企業を含めた現在の障害者雇用状況や施策をきちんとお伝えすることが、不安を取り除くのではないのでしょうか？

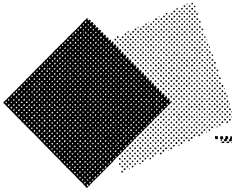
保護者・職員のアンケートより

- 本人の話を中心としたセミナーは、就職経験のない人、迷っている人に有効！
 - 就職経験の有無によって不安内容の具体性は異なるが、ジョブコーチの存在を伝えていくことが安心につながるようだ！
 - 就職経験のない人には、本人の話が有効！
 - 就職経験のある人には、企業の話が有効！
- 経験のない事は誰しも不安。さまざまな、体験や体験を聞くことで、利用者の選択肢は広がるのでは？「就職」を漠然としたものとしてらえるのではなく、「見学」や体験談を通して働くことを考える環境を本人たちは求めています。

担当者のしづか

舞台上に登場した、制服姿も凛々しく、まぶしいばかりのK君。彼は自閉症愛の手帳3度の青年です。スムーズな会話によるコミュニケーションは苦手ですが、今では、会社の中で皆さんに可愛がられ就労しています。働くことによって、こんなに生き生きとした表情になるのかといつも感動しています。

「働きたいを応援します」というネットワークのパンフレットの言葉どおり、これからもさらに皆さんの応援団になりたいと思います。まずは、「みてる、きいてみる、やってみる」です。知らないことによる不安で利用者も保護者も職員も一杯なのでしょう。ひとつずつ、段階に応じて、一緒に解決しましょう。ニコニコ事業団にどしどしご連絡ください！お待ちしております。



ペットボトルのキャップ回収にご協力を！

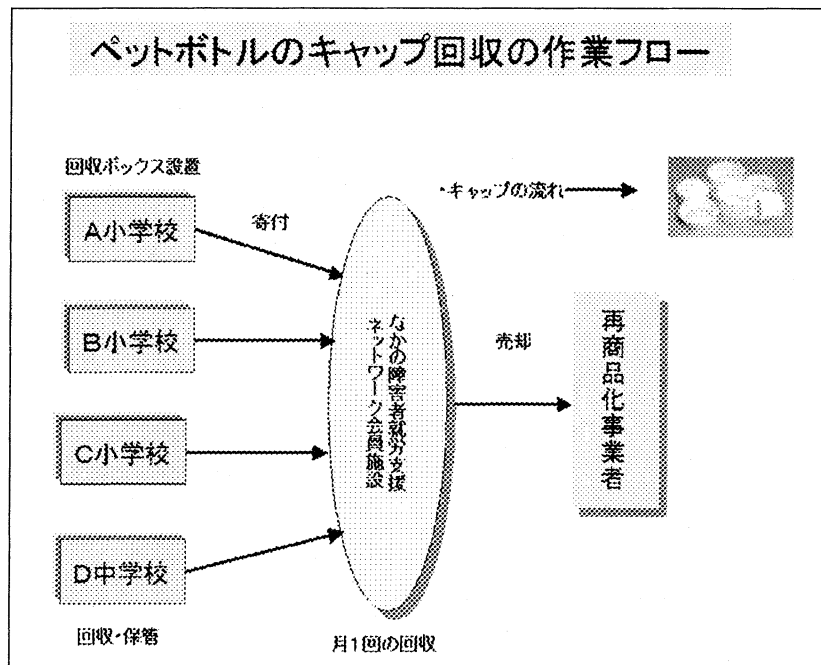
共同受注部会長 渡辺

日本の経済低迷・デフレ状況が長期化する中で、ネットワーク各作業所の作業受注・製品販売状況も大変厳しくなっています。そこで、引き続き作業受注を新規開拓しつつ、ネットワーク独自で新しい事業を立ち上げるべく「ペットボトルのキャップ・リサイクル事業」が共同受注部会で提案され、7月17日の運営会議で承認されました。

ペットボトル本体はリサイクルされているが、キャップは現在中野区では「不燃ごみ」として取り扱われ、出されています。しかしその材質はPP(ポリプロピレン 一部PE-ポリエチレン使用)でできており、数が集まれば立派にプラスチック再生品としてリサイクルできる物質であることに着目。プラスチック製品の再利用が進む中で、有価物(資源物)としての取引も可能であることが判明。そこで、中野区資源循環推進課の指導のもと、中野区教育委員会の理解を得て、区内小・中学校で児童・生徒の「環境教育」の一環として家庭から集め、それを近隣の障害者作業施設が回収して、販売収益を施設の運営の一助にしようとするものです。この10月から12校(10月1日現在)の小・中学校の協力を得て回収が始まりました(下図)。

中野区のごみ減量の一助となり、学校での環境教育に寄与し、福祉団体が独自に施設の運営資金を確保する、地域の学校と障害者施設が連携した新しい試みに多くの中野区民の協力が得られたら、と切に願っています。

港区でも同様な動きが始まっており、今後都内全域にキャップ・リサイクル事業を拡げていきたい。



訓練



雇用へ

全国精神障害者社会適応訓練事業研修会に参加して

マイル社会復帰センター 宇田

「社会適応訓練事業」ってなんのことだか知っていますか？ いわゆる企業で実習をさせてもらう制度で、企業主の方々を職親さんとよんでいる事業です。精神障害者の場合はまだ、保健所が窓口になっているので、就労支援のシステムには馴染んでいない事業ですが、当事者の方が即就労には不安で、まず、働く持久力や生活から練習したいという方にはひとつのステップとしては有効な事業のようです。また、中小企業の方が職親になっていることが多く、生活のことから仕事の遂行のことまで、相談にのって、人としての出会いを大事にしてくれることもあるようです。

上記の研修会は、その職親の方々が自らの活動が障害者の就労支援のどのような位置付けで今後の課題は何か等、積極的に研修されている会でした。東京都心身障害者福祉センターの奈良さんからは「区市町村障害者就労・支援事業」の機能のお話がありましたが、生活支援と一体的提供が必要と強調されていました。授産施設や作業所内の訓練で完結するのではなく、雇用へ向けての支援にリンクしていく考え方や、不十分ながらも今ある就労支援制度を私たちも使いこなせるサービスにしていけるように勉強していくことが必要と感じました。

とびっくす!

さらにグレードアップしました

「サポート2」CD-ROM付き 7000円+税

(利用者支援のための記録活用ツール)

VOL10でも紹介しました「ケース・サポート・システム」が改良され、さらにグレードアップして、解説書付きで販売されました。

「記録なくしてケアなし」と言うことは百も承知。でもね、いそがしすぎて記録を書く時間なんて殆どとれないの。ケース会議で使う資料づくりとか過去の記録を探すのも時間がかかるし、人が変わるとそれまでの支援の経過がわからなくなるのよね・・・」「最近、誰にどんな援助をしたのが記憶が薄れてしまって困るときがあるの」

などと嘆きの声があちこちで聞こえます。そこで、開発されたのがこのソフト。パソコンは転記や記録が大得意。これを道具として使えば、上のような嘆きも緩和されて、対人援助サービスを行なう福祉職員はもっと、利用者に向かい合えるはず。事務的な作業を効率よくできないものかと悩んでいる方に、是非、お勧めしたい一押しソフトです。(VOL10再掲)

◆お問合せは、コロニー印刷所(担当:小川)



発行: (財)日本社会福祉弘済会

発売: 筒井書房

TEL/FAX: 03-3993-5545 / 03-3993-7177

就労支援ネットワーク会議要約(26回~27回)

第26回 7月17日開催

- ◆カサデオリーバの加入について
中野で4つ目の精神障害者共同作業所。1F喫茶運営、2Fにて軽作業を行う。加入を承認
- ◆パン販売を活用した店舗運営について
・他団体の実態調査報告
「Aふらんき」(足立区障害者施設作業ネットワーク会)、「喫茶ふれんど」(練馬手をつなぐ親の会)
・提案「コミュニケーションズカフェ」について
- ◆共同受注部会の取り組み状況
・ネットワークリーフレットの改訂版に中野区が支援している旨のコメントを入れ込む
・各作業所実態アンケートを作成、トータルでの受注量、共同受注の割合の調査
・ペットボトルのキャップ回収作業→小・中学校に回収BOX設置し、ネットワークにて回収しリサイクル業者へ。共同受注の新作業として取り組む
- ◆その他・・・「江古田の森」について→施設構成、開設日変更の可能性あり
情報提供・・・7月24日「障害のある方のための就職相談会」他

第27回 9月18日開催

- ◆共同受注部会の取り組み状況
・ペットボトルのキャップ回収作業がスタート。事務処理について承認
・ホームページ更新について(商品・自主製品・受託作業サービスの掲載を各施設のページに追加更新)
・施設実態アンケート調査は上記のホームページ更新で把握できるため行わない
・ネットワークの新リーフレットは更新内容を今後検討
- ◆ミニ研修会開催
・障害者福祉を取り巻く雇用・就労、生活支援サービス等の最新情報と動向(東京コロニー 勝又理事長)
・精神障害者就労支援の課題と展望について(スマイル復帰センター 宇田氏)

編集
後記

①空も街の街路樹も空気もいつの間にか秋色に変わりました。四季の変化を肌で感じていると自然の恵みに感謝の気持ちが湧いてきます。この4月から障害者関係も支援費制度という利用契約制度に変わりました。「障害があってもなくても誰もがふつうにまちで暮らす」ことが特別ではなくふつうにできる日が待ち遠しい・・・。(じ)

